2026
11月13日(金)

元気das
Daily Magazine

発行日／2026年11月13日 (No.6530)
編集・発行所／元気das編集室
東京都港区芝公園1-6-7-6　※内容に関する
問合せは0120－063711〈会員限定発行〉

BUZZ WORD **バック・トゥ・ザ・フューチャー**

1980年代を代表する、SF映画の金字塔。来年春に、公式検定企画「バック・トゥ・ザ・フューチャー検定」が開催される。名シーンや印象的なせりふ、エピソードをはじめ、マニアックな問題も出題されるという。

東京外為(米ドル) 12日17時 前日比 159円71－72銭(▼84銭)　シドニー外為(豪ドル) 12日6時半 109円41－42銭　日経平均株価 12日15時 ©日本経済新聞社 JIJIPRESS 提供 60,819円36銭(▼429円23銭)

生26-261113,営業開発室



◆没入感の高い表現



「3DCG」とは、縦・横・奥行きのある3次元の立体空間で描かれたコンピューターグラフィックスのこと。映画、アニメーション、ゲームといったエンタメ業界だけでなく、医療、建築、製品デザインなど、さまざまな分野で活用されています。対象物を回転させてさまざまな角度から見ることができ、背景を組み合わせれば、臨場感のある映像や非現実的な世界を作り出せます。アニメキャラクターを動かしたり、オリジナルフィギュアを作ったりと、頭の中の世界をリアルに表現できるのが魅力です。

◆作業しながら覚えていく



3DCGを作成するためには、ある程度スペックの高いパソコンとソフトが必要です。基礎を学ぶなら、全プロセスをこなせる統合型のソフトがおすすめ。一方、作りたい作品が決まっている場合は、特定の機能に絞った特化型を選ぶと良いでしょう。近年は、ニーズの高まりを受け、学習に適した書籍が多数出版されているほか、インターネット上に多くのチュートリアル動画もアップロードされています。これらの情報を活用し、技術を身に付けましょう。

Happy Birthday

俳優 ジェラルド・バトラーさん

1969年生まれ



大学を首席で卒業し、弁護士事務所に就職したものの、夢を捨て切れずに俳優に転身。ミュージカル映画『オペラ座の怪人』(2004年)で主人公の怪人役を熱演し、ブレークを果たす。主演を務めた映画『300 <スリーハンドレッド>』(07年)の世界的大ヒットで、人気を不動のものにした。代表作には、映画『P.S. アイラヴユー』(07年)や「エンド・オブ」シリーズなどがある。

来年1月に、主演映画の続編『グリーンランド －地球最後の希望－』が日本で公開される。

37年前のきょう

日本初の「生体肝移植」

1989年、島根医科大(現・島根大医学部)の永末直文助教授が、国内で初となる「生体肝移植」の手術を行った。世界でも4例目。肝臓から腸へ胆汁を送り出す胆管が機能しない「先天性胆道閉鎖症」の1歳男児に、父親の肝臓の一部を移植するという手術で、日本に生体肝移植が広がるきっかけとなった。

気になるMOVIE

負けへんで

2026年11月13日(金) 公開



不動産デベロッパーの社長を務める藤堂(内野聖陽さん)は、30億円の業務上横領の罪で逮捕されてしまう。8カ月と2日に及ぶ拘留の後、6度目の請求で保釈が決定。裁判に向けて準備をし始めた藤堂と弁護士軍団は、逮捕されている社員・木下の取り調べを録画した動画を検証し始めるが、そこには驚愕(きょうがく)の事実が隠されていた――。

配給:ギャガ
© 2026「負けへんで」製作委員会

こんなとき→このメニュー

尿酸値が気になるときは…

海藻類などのアルカリ性の食品を摂ると、尿酸が尿に溶けやすくなるといわれています。
ゆでてざく切りにした春菊と戻したヒジキ、水切り豆腐をボウルに入れ、練りごま、しょうゆ、砂糖、塩を混ぜて白あえに。

来週月曜日は「ツボ」をお届けします!

その他のメニューや健康情報はコチラ▶https://genkidas.com

日本生命は全国の自治体と協定等で連携し、
健康増進・疾病予防に関する取組みを推進しています

ご存知ですか？
あなたの街の「がん検診」

市町村で受診できるがん検診は
「無料」または「少額の自己負担」で受けられます
（※市町村により異なります）

市町村でのがん検診について、詳細は以下のサイトよりお住まいの区域をご確認ください

がん対策推進企業アクション ホームページ

あなたの街の「がん検診」市町村別 がん検診に関するお問い合わせ先

URL https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/contact-by-municipality/contact.php

がん対策推進企業アクション 市町村別がん検診 検索

※随時更新されていますが、古い情報が含まれている場合があります

がん対策推進企業アクションとは

がん対策推進企業アクション

がん検診受診率向上と治療と仕事の両立支援を目指す、厚生労働省の委託を受けた国家プロジェクト。
職域におけるがん検診受診率向上を企業連携で推進していくことで、“がん”と前向きに取り組む社会気運を醸成。企業が率先して「がん検診受診」の大切さを呼びかけることにより、受診率60%以上を目指します。

日本生命は「がん対策推進企業アクション」の推進パートナー企業として、がん検診受診の大切さを呼びかけています

NISSAY

※がん検診は、正しい方法を正しく行うことで、がんによる死亡リスクの低下が期待できる一方、「エックス線検査による放射線被ばく」等のデメリットがあるとされています。がん検診に対する理解を深め、健康と安心のために適切に利用してください。詳細については「がん検診についての解説ビラ」をご覧ください。

生24-3138,商品開発G